

PRIMEQUEST 1000 シリーズ
Windows Server 2008
NTP 設定手順書



はじめに

- 本書は、以下の環境におけるインターネット時刻（NTP）の設定手順について解説するものです。
 - PRIMEQUEST 1000 シリーズ
 - Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2
 - Workgroup 環境
- 本書は、PRIMEQUEST 1000 シリーズと、Windows Server のシステム管理者としての一般的な操作知識をもつ方を前提に記載しています。PRIMEQUEST 1000 シリーズの詳細については、ハードウェアマニュアルを参照してください。
- Active Directory 環境の場合は、自動的にドメインコントローラと時刻同期が行われますので、本書の設定を行う必要はありません。
- Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2 の NTP 設定については、『PRIMEQUEST 1000 シリーズ Windows Server 2003 NTP 設定手順』をお読みください。
- Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1 NTP設定の概要

PRIMEQUEST 1000 シリーズは、Home SB にパーティションの時刻が保持されています。そのため Reserved SB 機能や、SB の保守交換によって Home SB が切り替わったさいに、パーティションのシステム時刻がずれる可能性があります。

Windows Server 2008 および Windows Server 2008 R2 の Workgroup 環境は、標準では 1 週間に 1 度、NTP サーバと時刻同期が行われる設定になっています。また、Windows Server 2008 以前は起動時に時刻同期が行われる仕様でしたが、Windows Server 2008 R2 では行われません。時刻のずれがすぐに修正されるように、以下の設定を行ってください。

設定項目	設定内容
NTP サーバの指定	コントロールパネルの[日付と時刻] から、同期先の NTP サーバを設定します。
時刻同期間隔の設定	15 分間隔で時刻同期が行われるように、レジストリエディタを使用して以下のレジストリ値を設定します。 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥TimeProviders¥NtpClient SpecialPollInterval (REG_DWORD) 値:900 (10 進数)
サービスの起動設定	システム管理の[サービス] から、Windows Time サービスが自動起動するように設定を行います。(Windows Server 2008 R2 のみ)
イベントタスクの設定	NTP サーバから時刻が取得できたとき、必ずシステム時刻に反映されるように、タスクスケジューラに以下のように登録します。 対象:”システム ログ”、ソース:”Time-Service” ID:37 が記録されたとき、“w32tm /resync” コマンドを実行する

詳細な手順は、次のページから説明します。

→ 2 Windows Server 2008 の設定手順

→ 3 Windows Server 2008 R2 の設定手順

2 Windows Server 2008 の設定手順

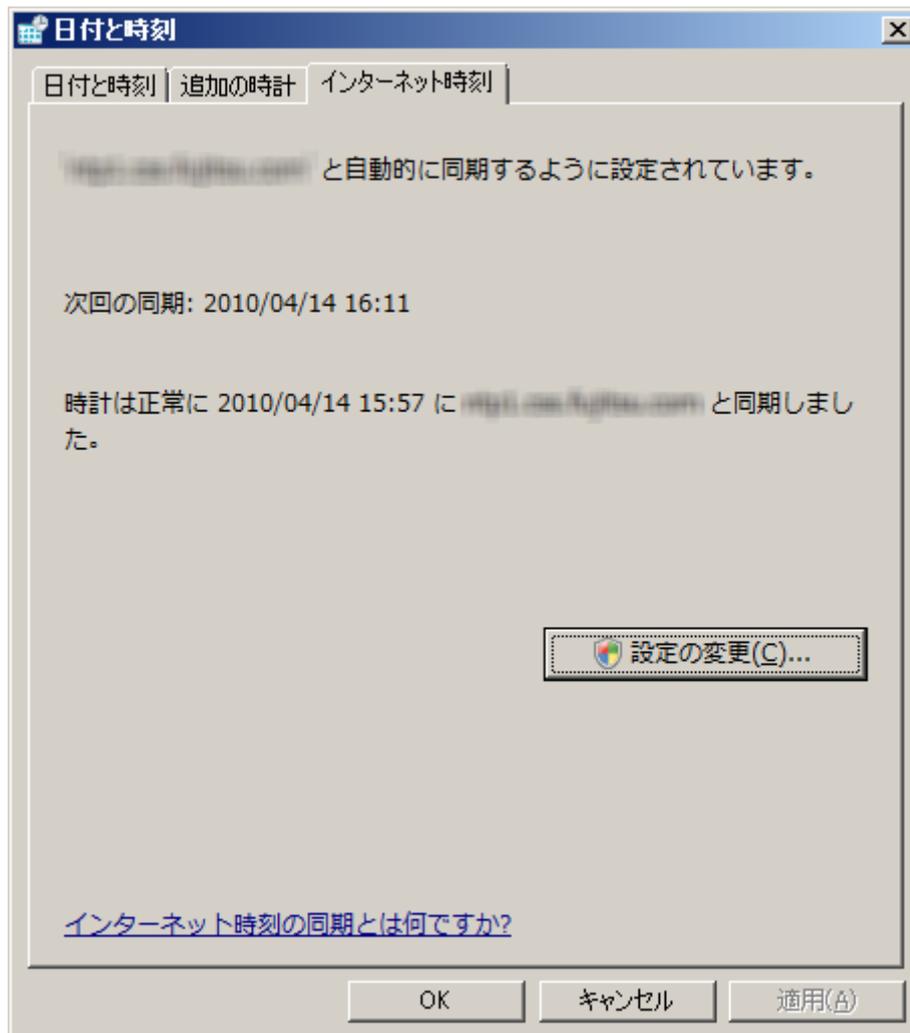
以降の手順は、管理者権限のあるユーザで行ってください。

2.1 NTPサーバの指定

- (1) [コントロール パネル] - [日付と時刻]を選択し、[日付と時刻] 画面を開きます。

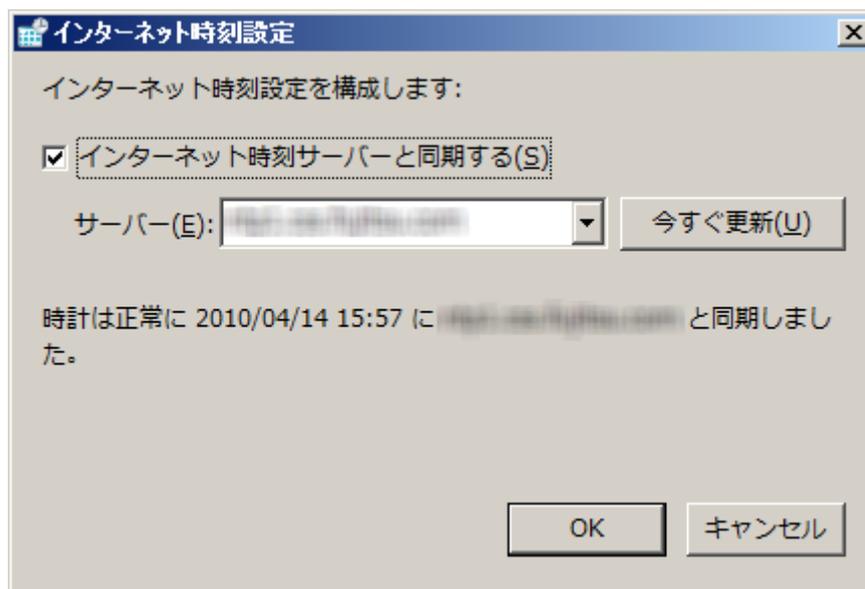


- (2) [インターネット時刻] タブの[設定の変更] ボタンをクリックします。



(3) [インターネット時刻設定] ダイアログで、以下のように設定します。

- [インターネット時刻サーバーと同期する] チェックボックスを ON にします。
- [サーバー] に NTP サーバを指定します。

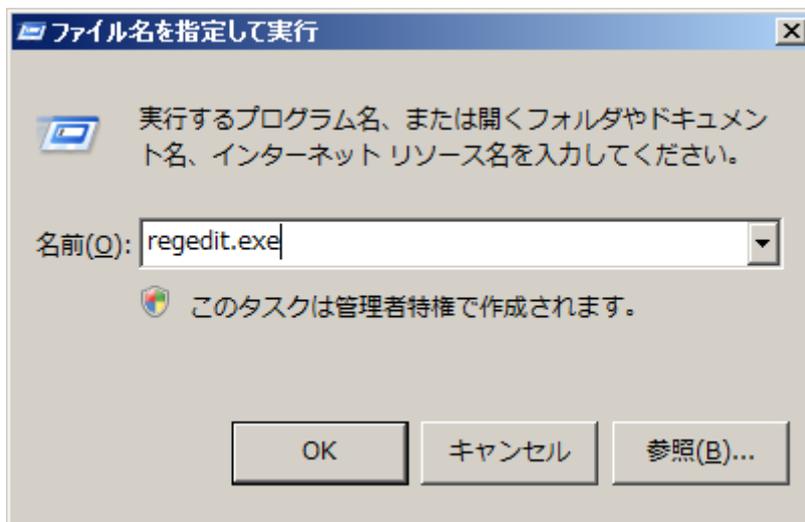


(4) [OK] をクリックして、[インターネット時刻設定] ダイアログを閉じます。

(5) [OK] をクリックして、[日付と時刻のプロパティ] を閉じます。

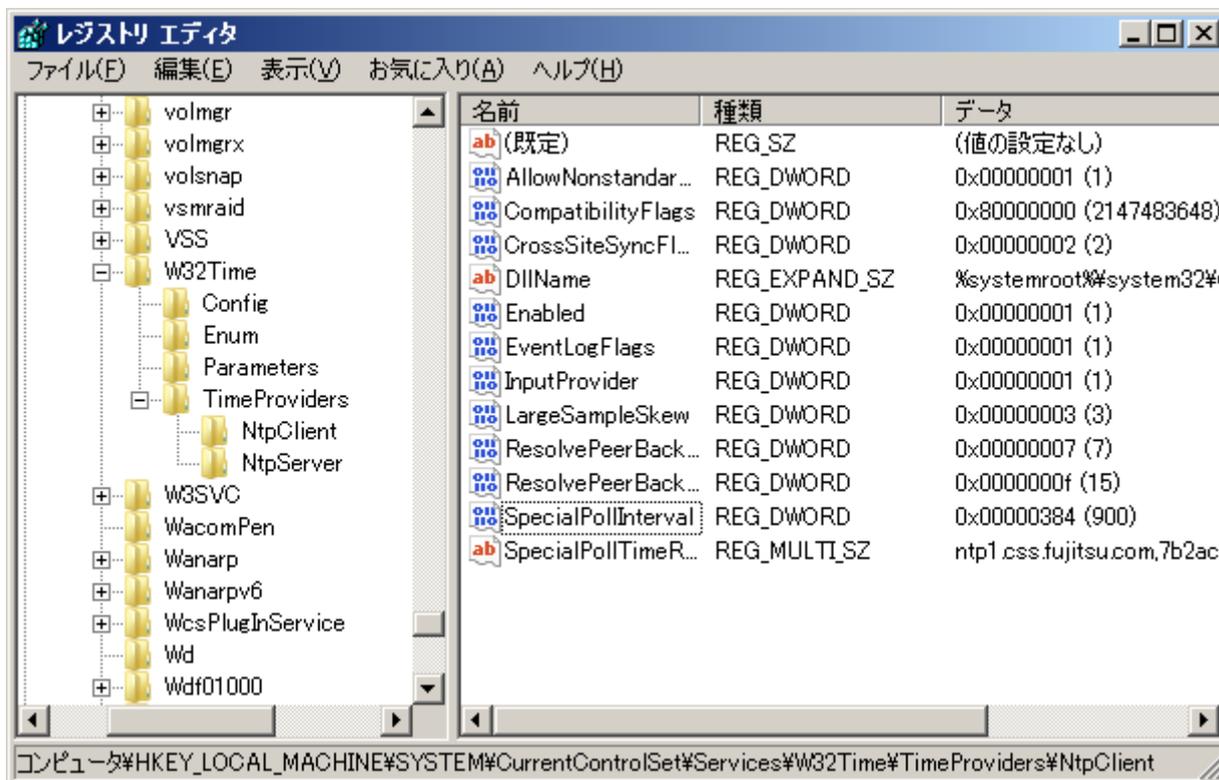
2.2 同期間隔の設定

- (1) [ファイル名を指定して実行] に、“regedit.exe”と入力して[OK] をクリックすると、レジストリ エディタが起動します。

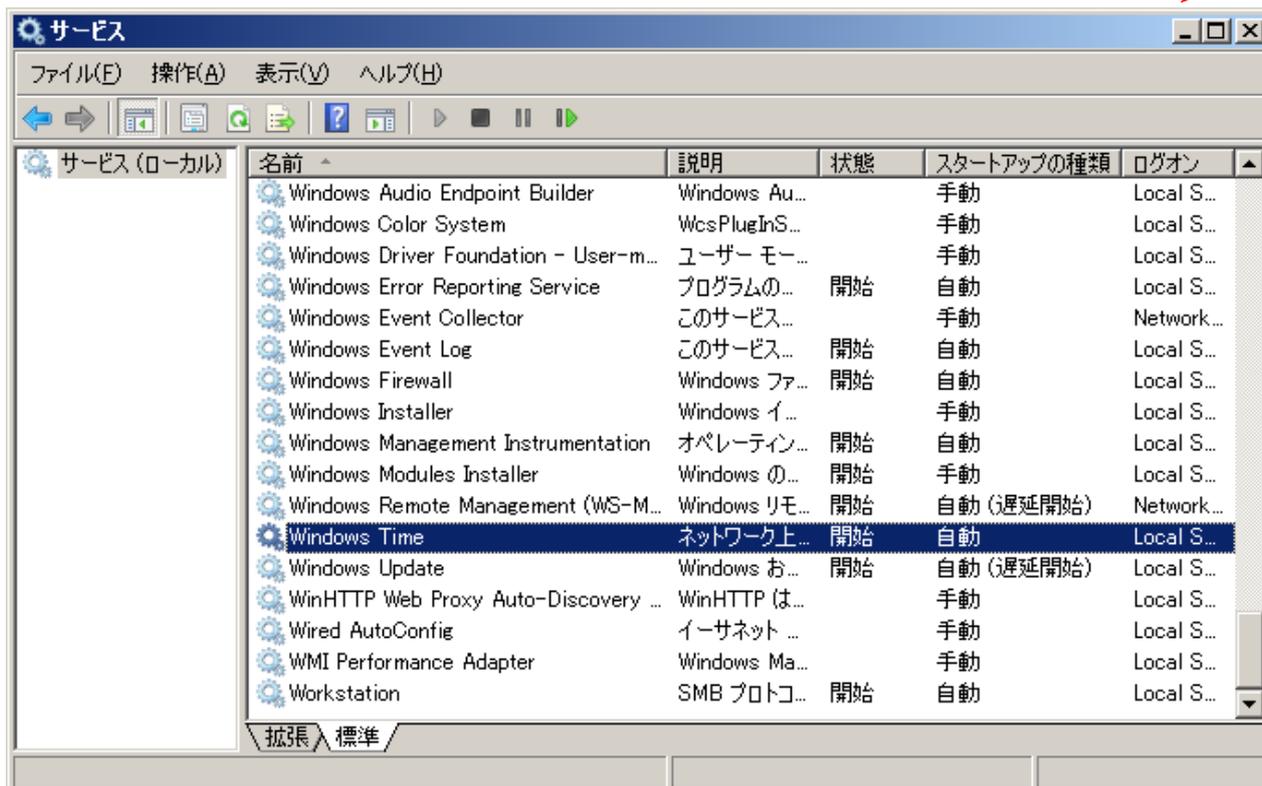


- (2) 以下のレジストリ値を設定します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\W32Time\TimeProviders\NtpClient  
SpecialPollInterval (REG_DWORD) 値:900 (10 進数)
```



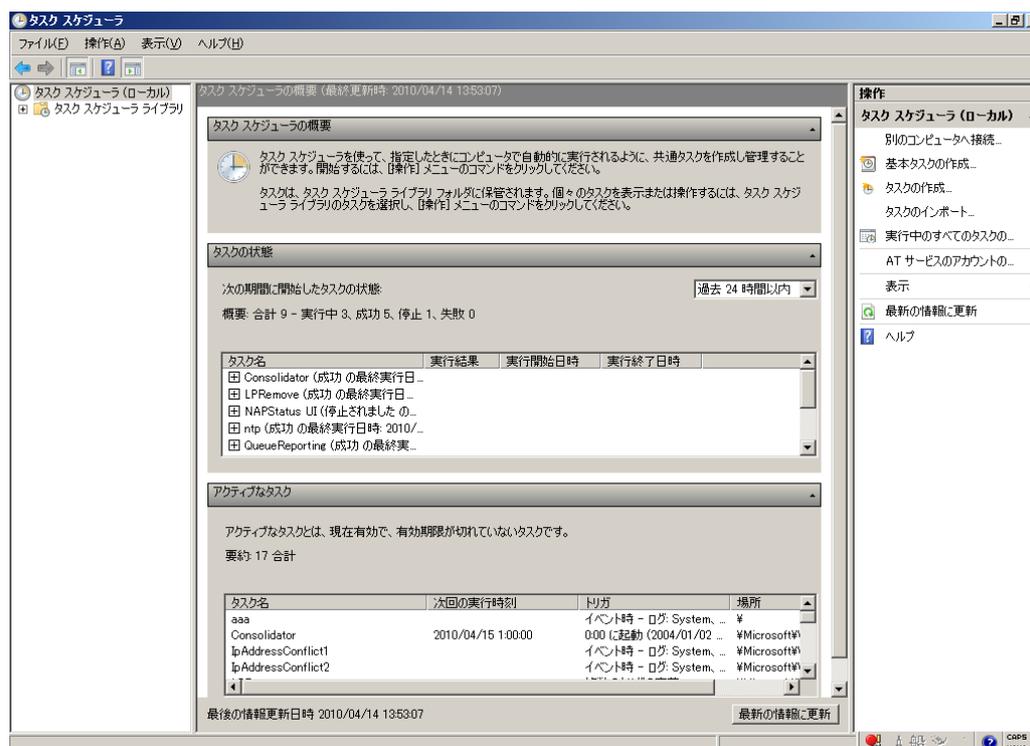
- (3) レジストリエディタを終了します。
- (4) スタートメニューの[管理ツール]・[サービス] を起動します。



(5) [Windows Time] サービスを選択し、右クリックのポップアップメニューから[再起動] を選択します。

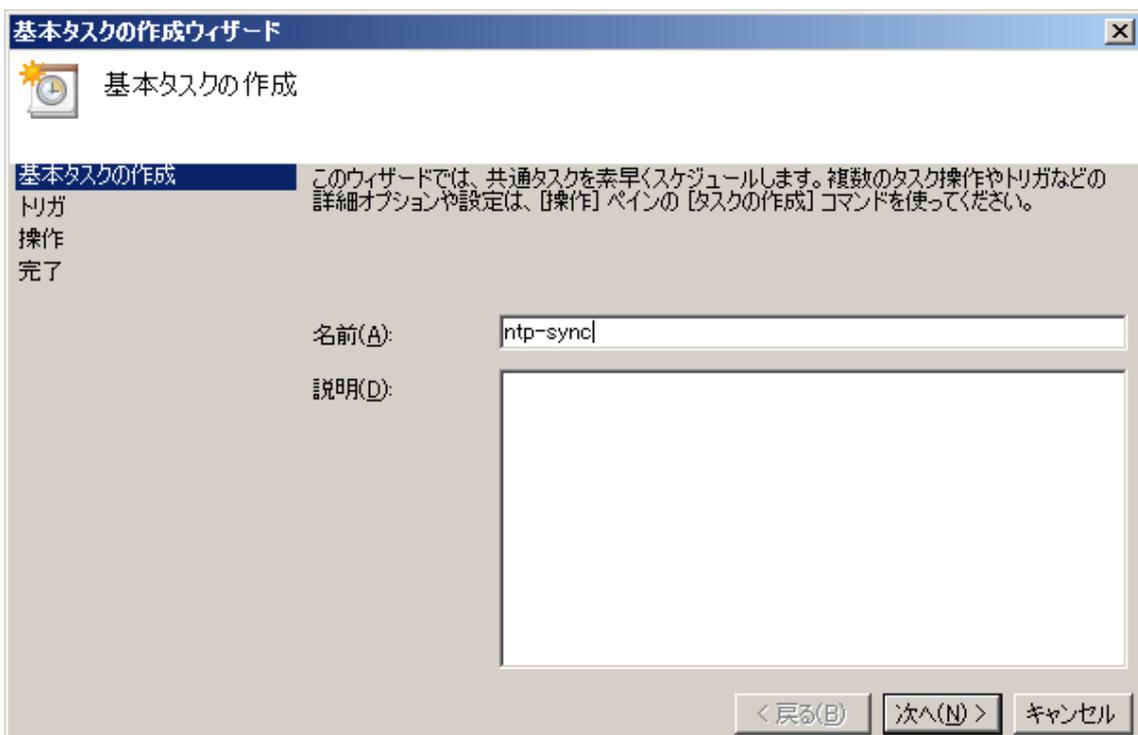
2.3 イベントタスクの設定

(1) スタートメニューの[管理ツール] - [タスク スケジューラ] を起動します。

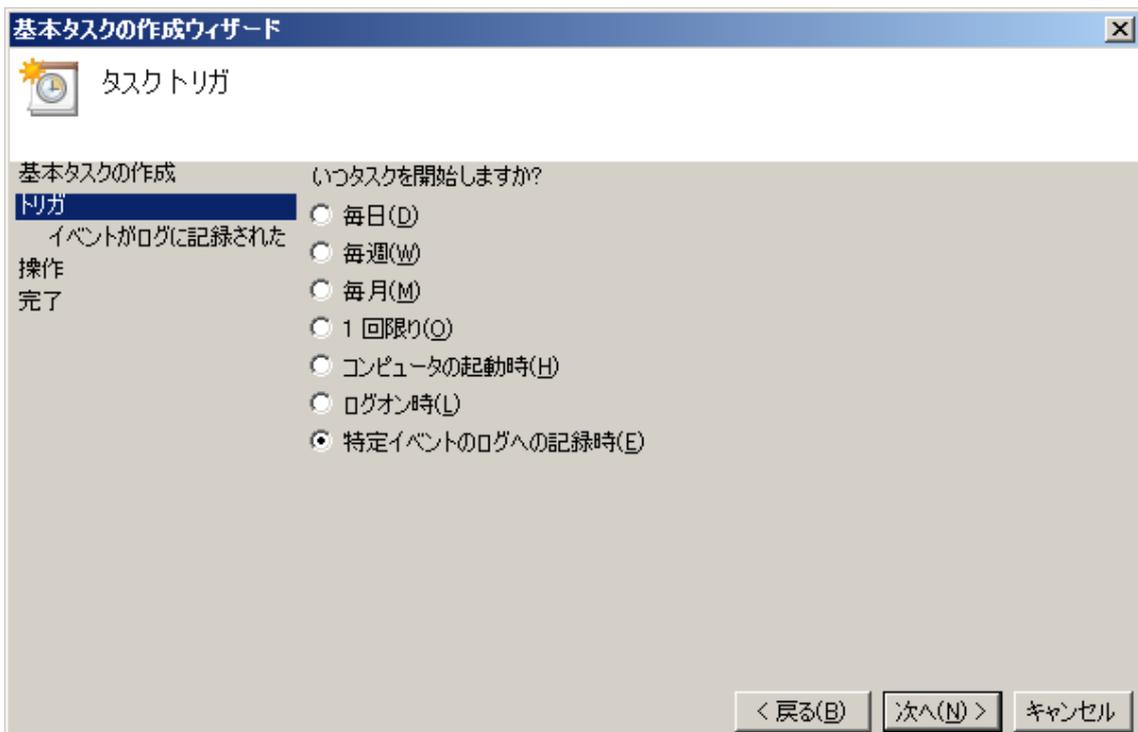


(2) 右の[操作] ペインから、[基本タスクの作成] を選択し、[基本タスクの作成ウィザード] を開きます。

(3) [基本タスクの作成] 画面で、[名前] に適当なタスクの名称を入力し、[次へ] をクリックします。

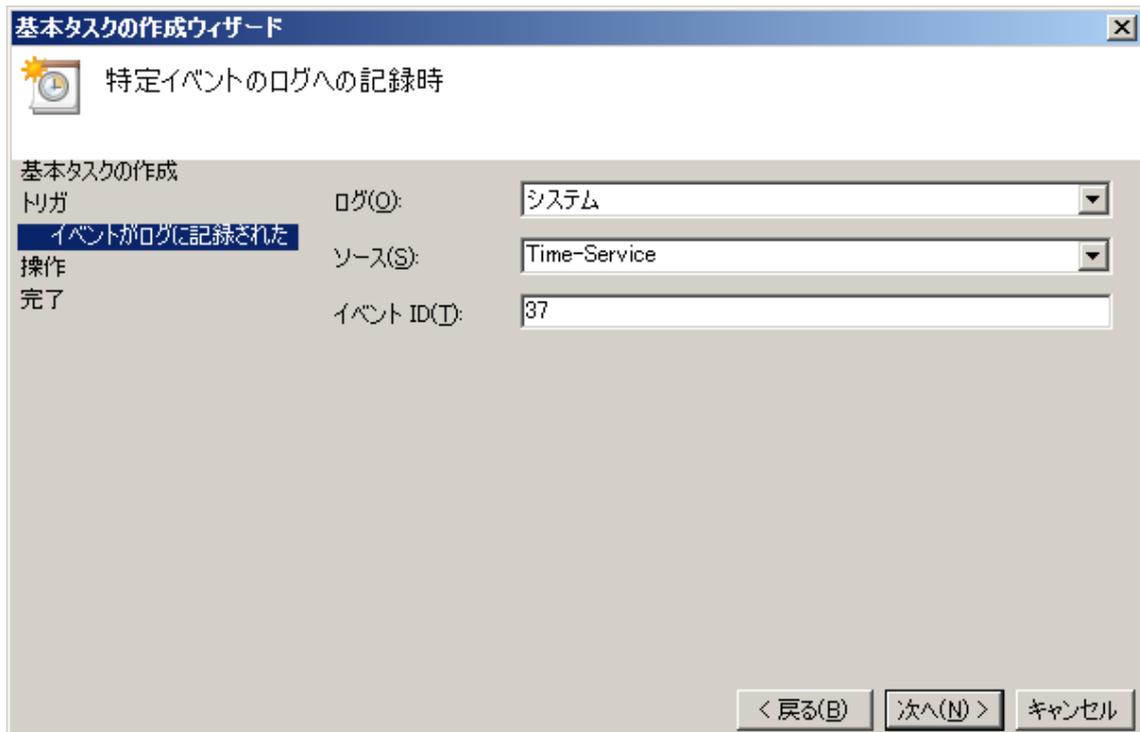


(4) [トリガ] 画面で、[特定イベントのログへの記録時] を指定し、[次へ] をクリックします。



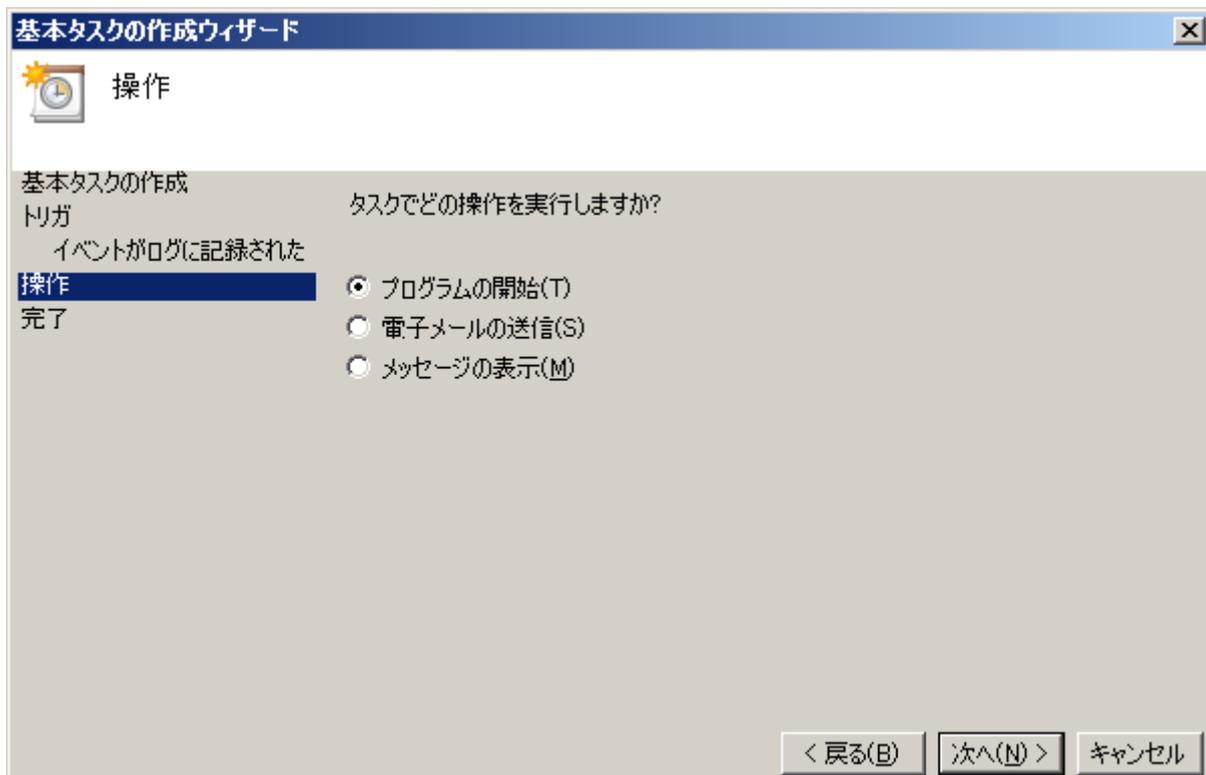
(5) [特定イベントのログへの記録時] 画面で、以下のように指定します。

- [ログ] から "システム" を選択します。
- [ソース] から "Time-Service" を選択します。
- [ID] に "37" を入力します。



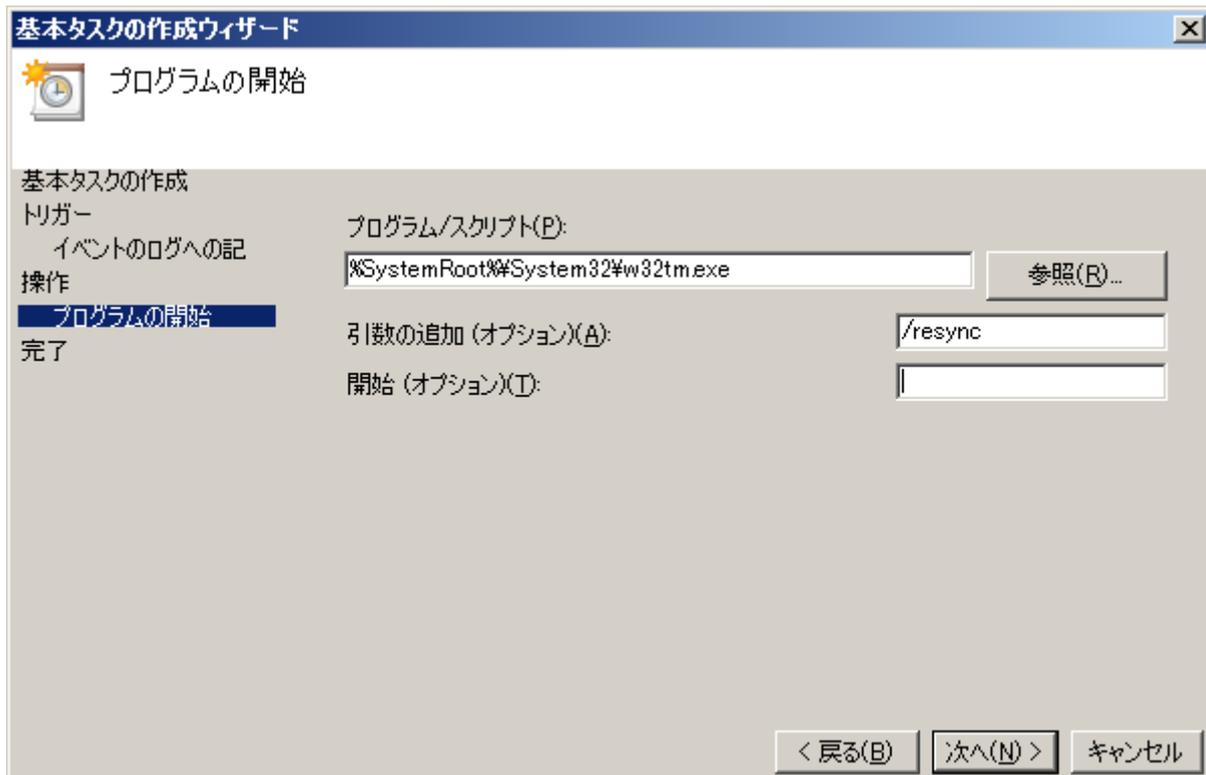
[次へ] をクリックします。

(6) [操作] 画面で、[プログラムの開始] を指定し、[次へ] をクリックします。



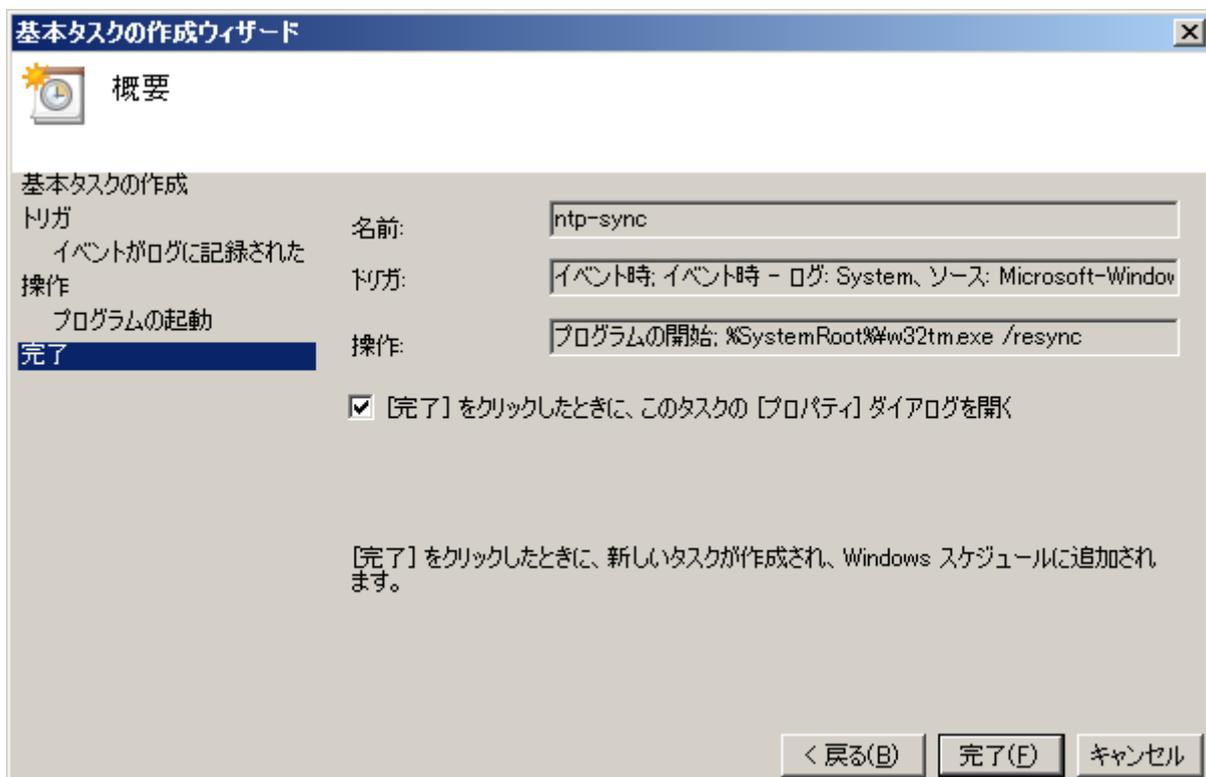
(7) [プログラムの開始] 画面で、以下のように指定します。

- [プログラム/スクリプト] に "%SystemRoot%\System32\w32tm.exe" と入力します。
- [引数の追加(オプション)] に "/resync" と入力します。

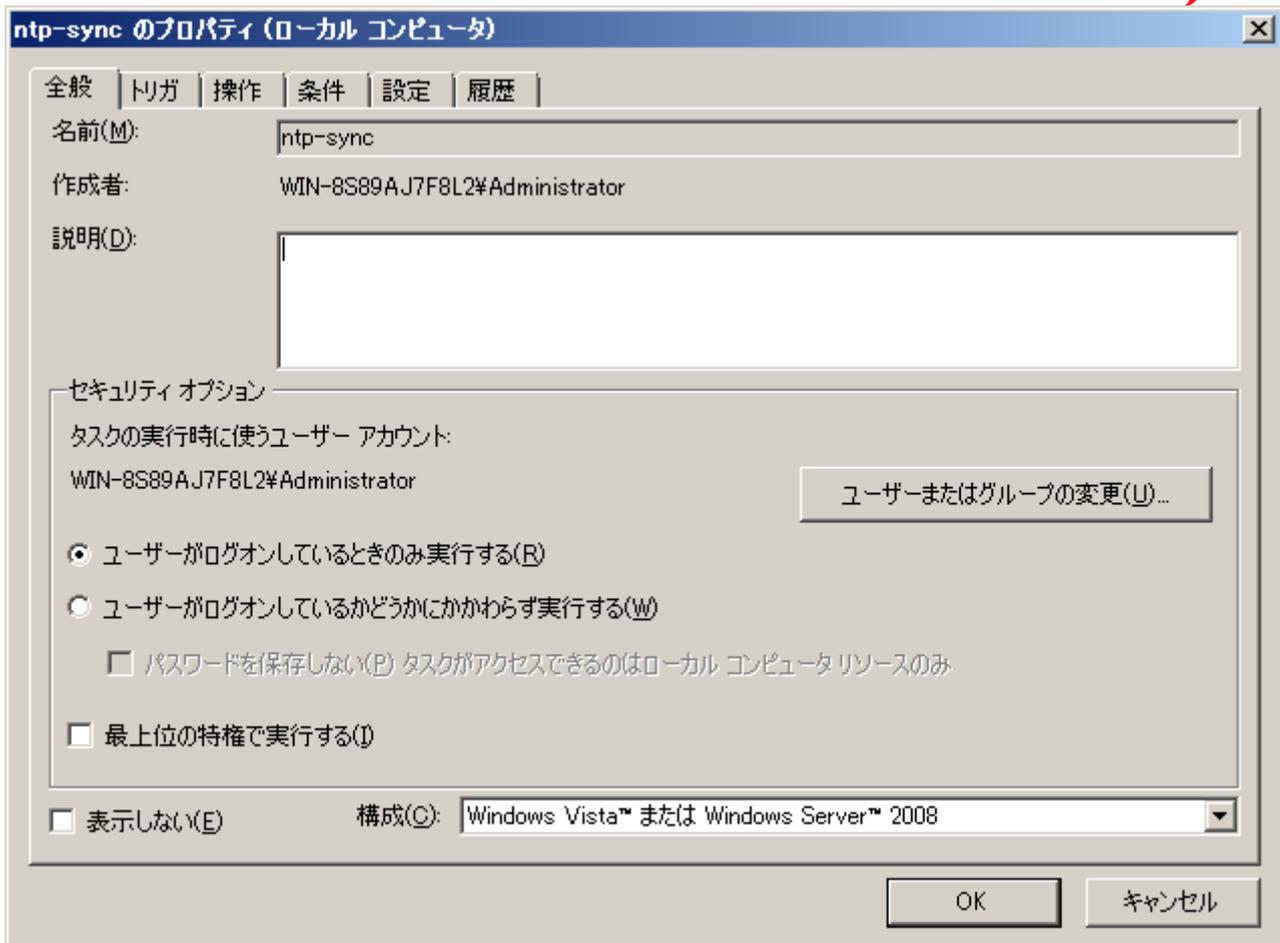


[次へ] をクリックします。

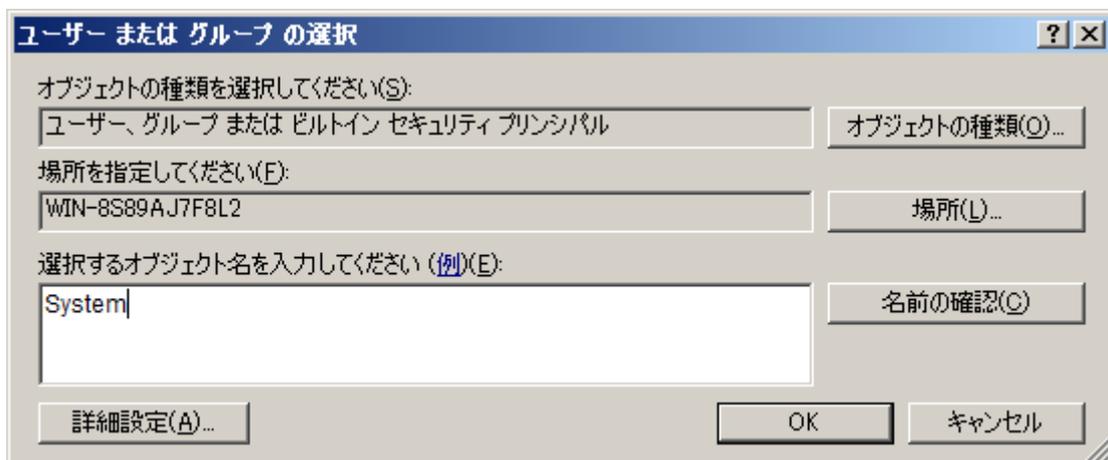
- (8) [概要]画面で、[完了をクリックしたときに、このタスクのプロパティ ダイアログを開く] のチェックボックスを ON にし、[完了]をクリックします。



- (9) [<タスクの名称>のプロパティ] 画面で、[ユーザーまたはグループの変更] ボタンをクリックします。



(10) [選択するオブジェクト名を入力してください] に "System" と入力し、[OK] をクリックします。



(11) [OK] をクリックして[<タスクの名称>のプロパティ] を閉じます。

3 Windows Server 2008 R2 の設定手順

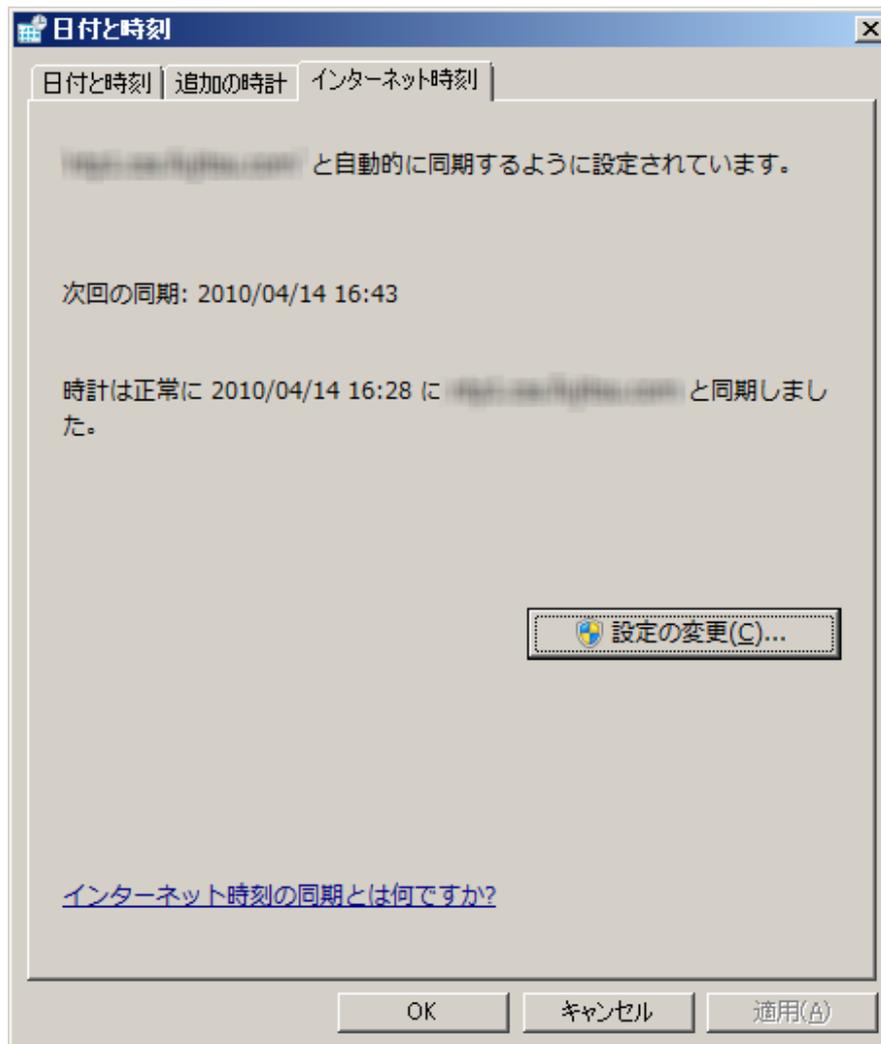
以降の手順は、管理者権限のあるユーザで行ってください。

3.1 NTPサーバの指定

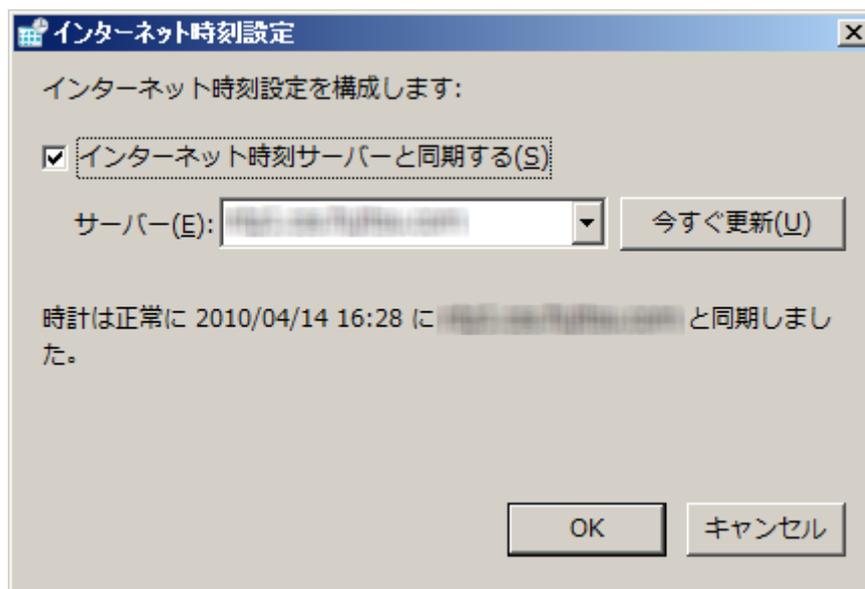
- (1) [コントロール パネル] - [日付と時刻の設定] を選択し、[日付と時刻] 画面を開きます。



- (2) [インターネット時刻] タブの[設定の変更] ボタンをクリックします。



- (3) [インターネット時刻設定] ダイアログで、以下のように設定します。
- [インターネット時刻サーバーと同期する] チェックボックスを ON にします。
 - [サーバー] に NTP サーバを指定します。



- (4) [OK] をクリックして、[インターネット時刻設定] ダイアログを閉じます。
- (5) [OK] をクリックして、[日付と時刻のプロパティ] を閉じます。

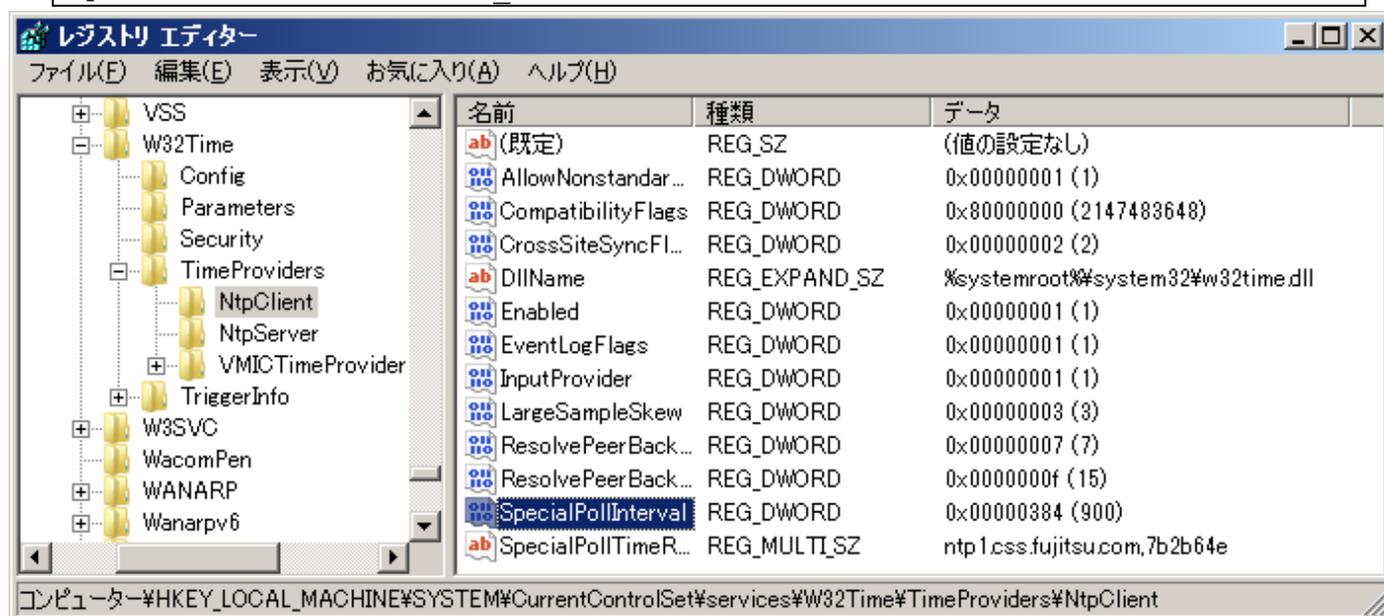
3.2 同期間隔およびサービス起動の設定

- (1) [ファイル名を指定して実行] に、“regedit.exe”と入力して[OK] をクリックすると、レジストリ エディタが起動します。

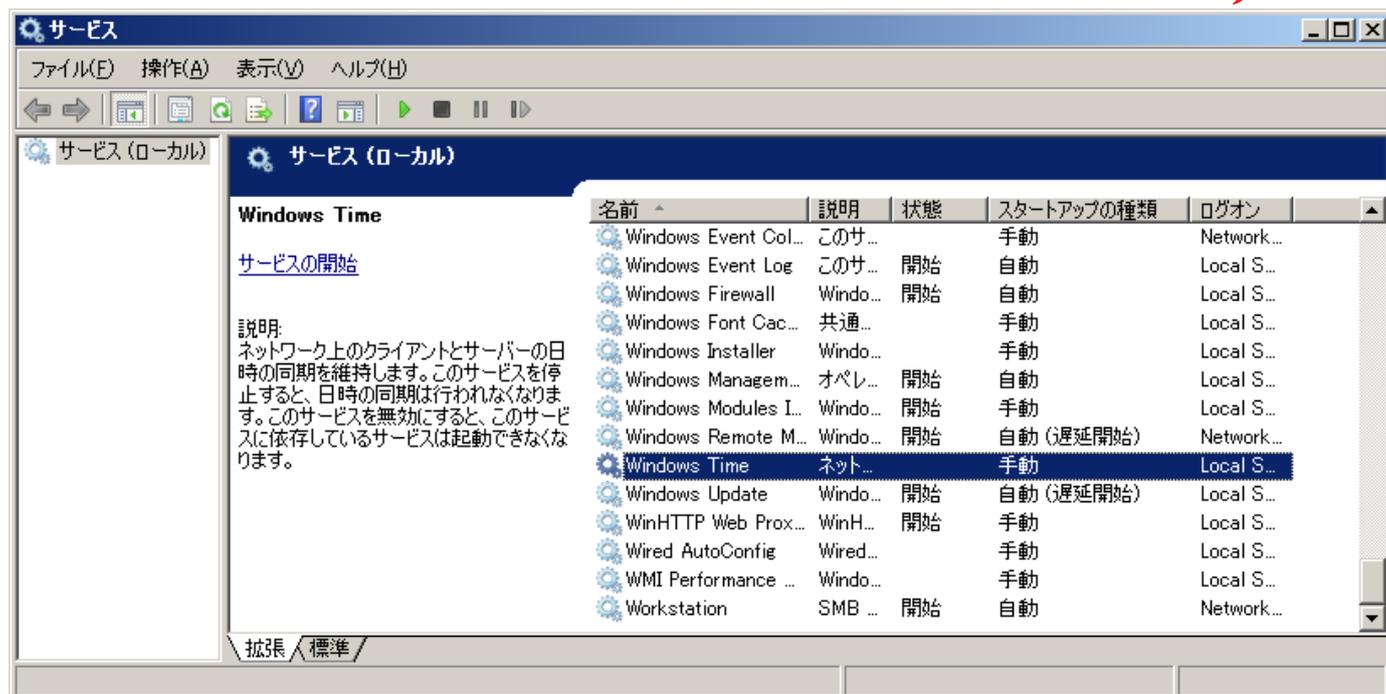


- (2) 以下のレジストリ値を設定します。

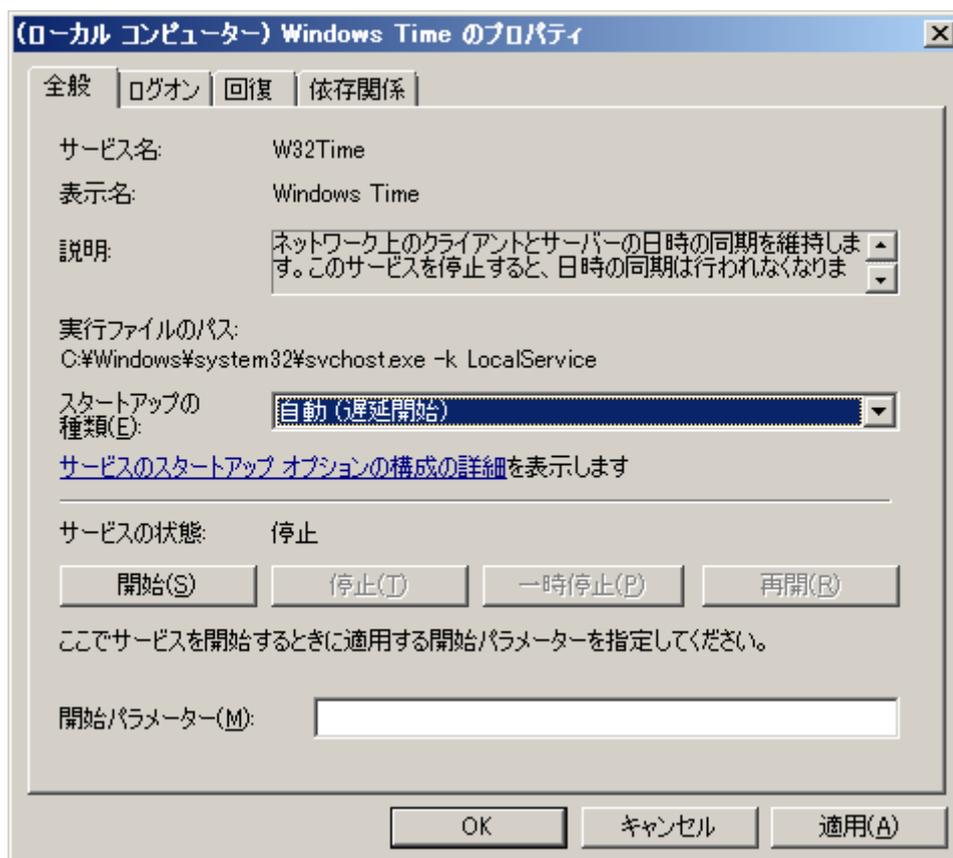
```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\W32Time\TimeProviders\NtpClient  
SpecialPollInterval (REG_DWORD) 値:900 (10 進数)
```



- (3) レジストリエディタを終了します。
- (4) スタートメニューの[管理ツール] - [サービス] を起動します。



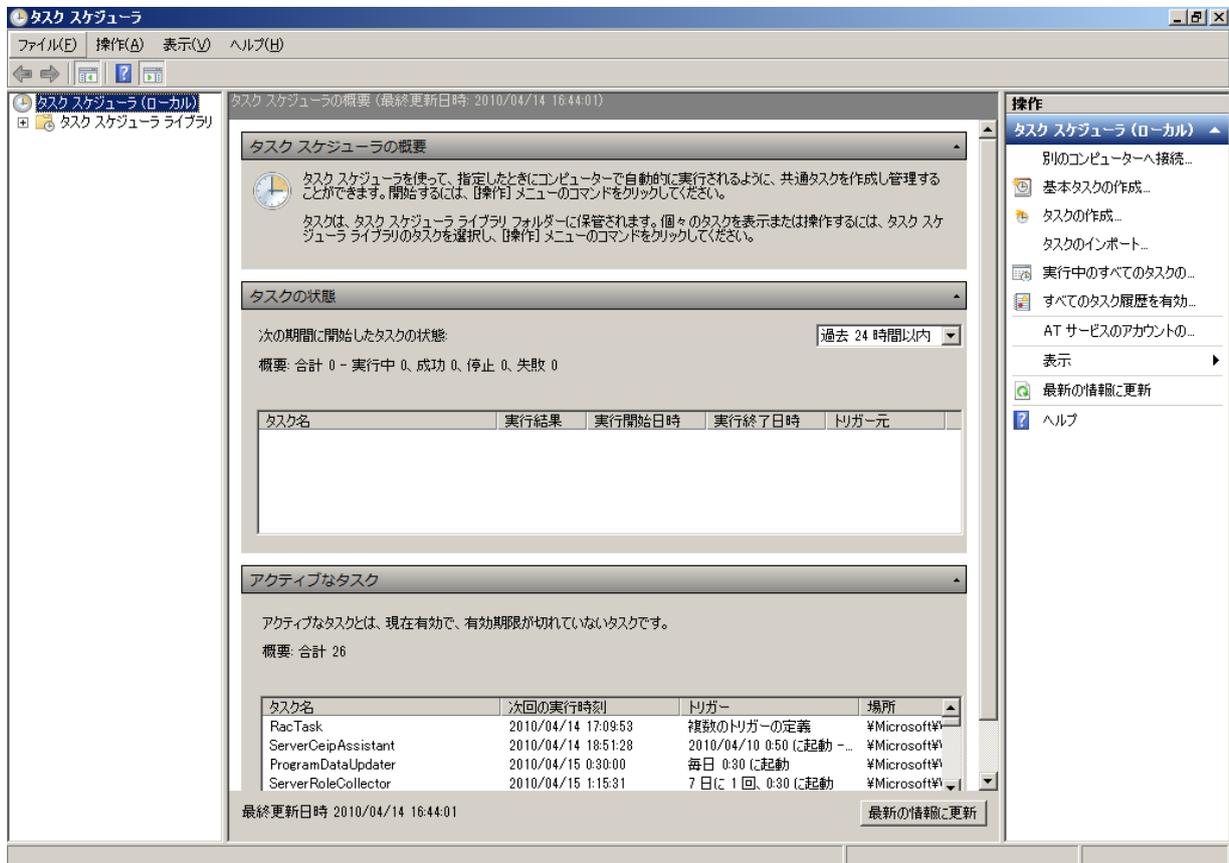
- (5) "Windows Time"サービスを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ] を選択します。
- (6) [Windows Time のプロパティ] 画面で、[スタートアップの種類] を "自動 (遅延開始)" に指定します。



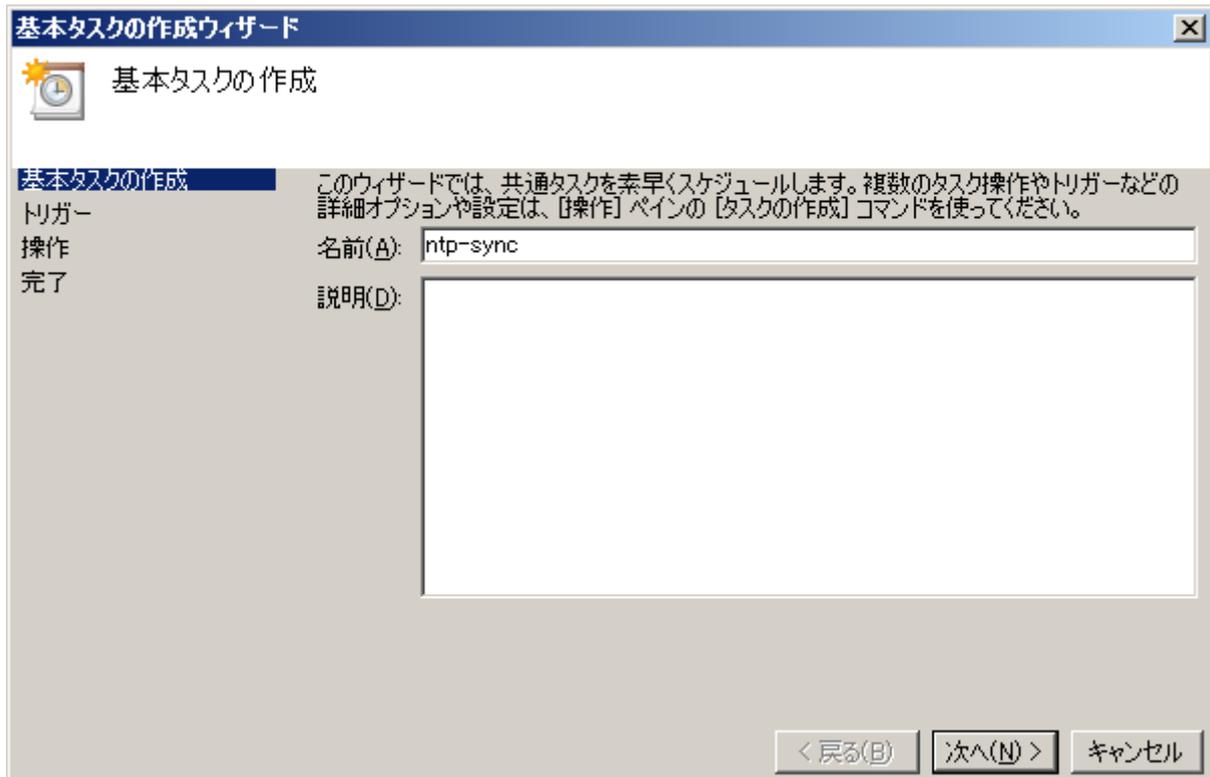
- (7) サービスが停止している場合は、[開始] ボタンをクリックします。サービスが既に開始している場合は、[停止] ボタンをクリックして一度停止状態にしてから、[開始]ボタンをクリックします。
- (8) [OK] をクリックして[Windows Time サービスのプロパティ] 画面を閉じます。

3.3 イベントタスクの設定

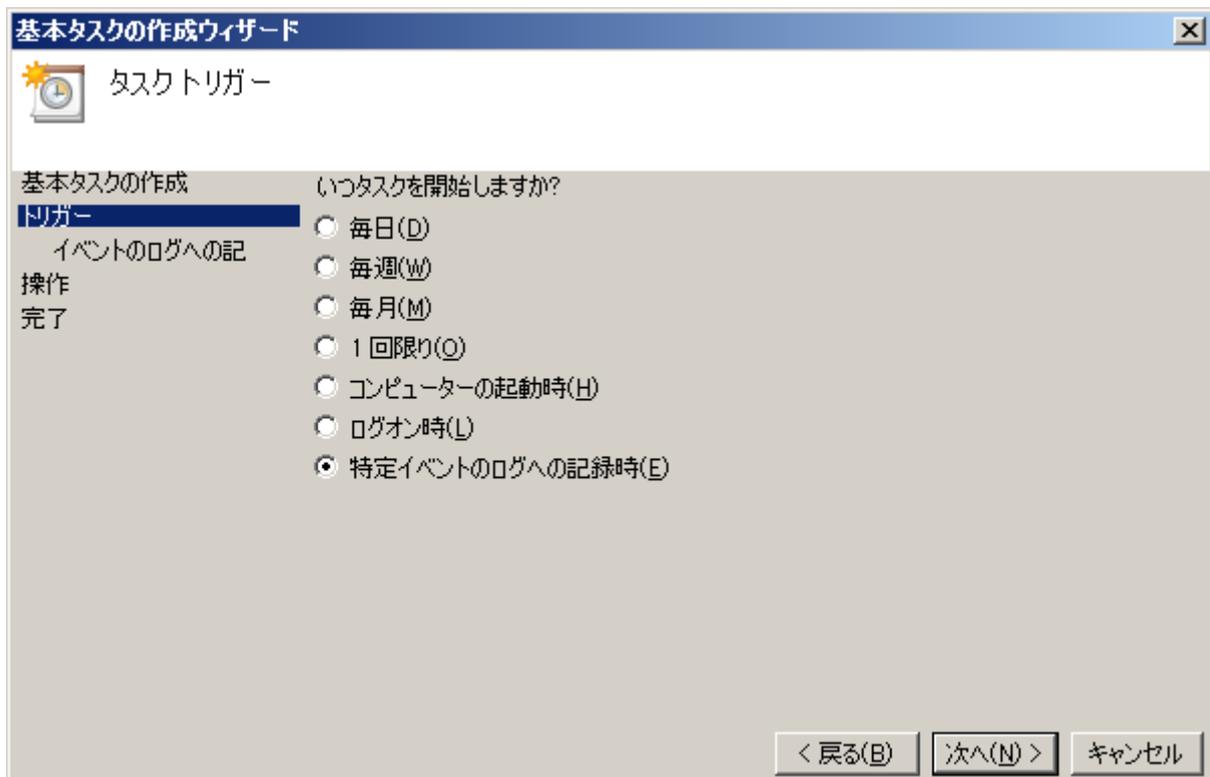
- (1) スタートメニューの[管理ツール] - [タスク スケジューラ] を起動します。



- (2) 右の[操作] ペインから、[基本タスクの作成] を選択し、[基本タスクの作成ウィザード] を開きます。
(3) [基本タスクの作成] 画面で、[名前] に適当なタスクの名称を入力し、[次へ] をクリックします。

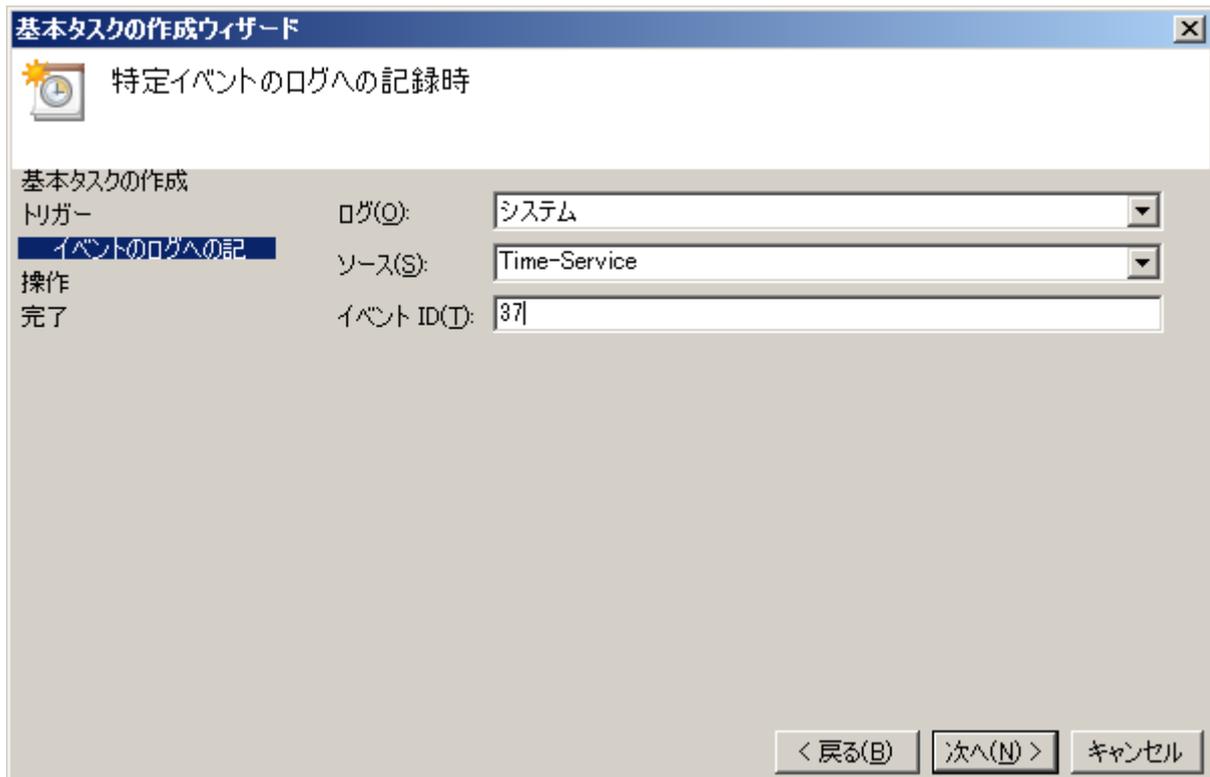


(4) [トリガ] 画面で、[特定イベントのログへの記録時] を指定し、[次へ] をクリックします。



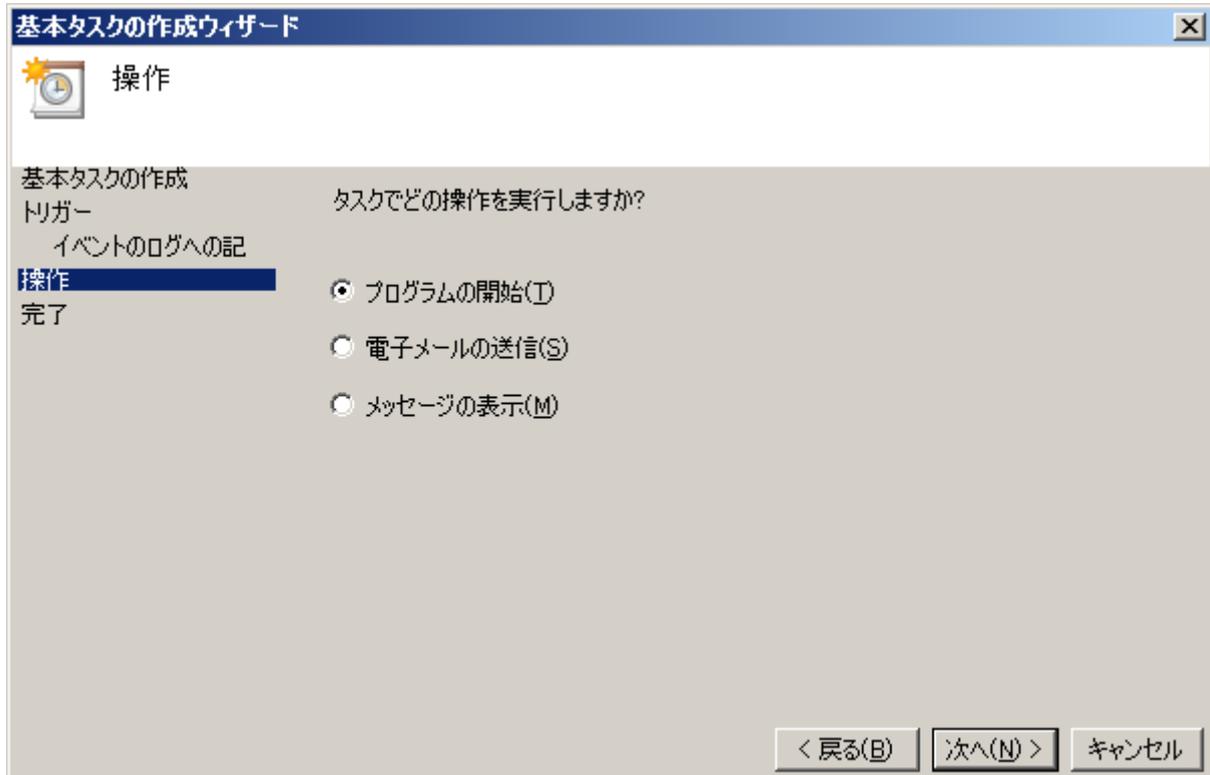
(5) [特定イベントのログへの記録時] 画面で、以下のように指定します。

- [ログ] から "システム" を選択します。
- [ソース] から "Time-Service" を選択します。
- [ID] に "37" を入力します。



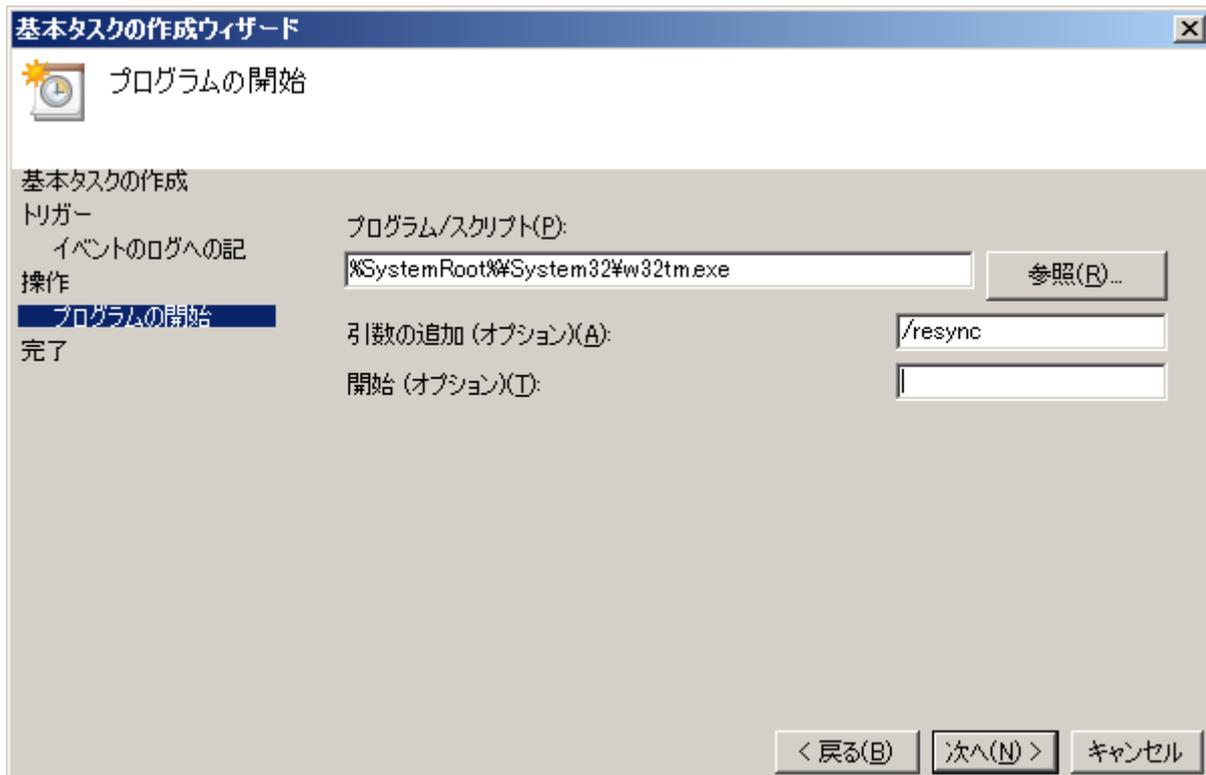
[次へ] をクリックします。

(6) [操作] 画面で、[プログラムの開始] を指定し、[次へ] をクリックします。



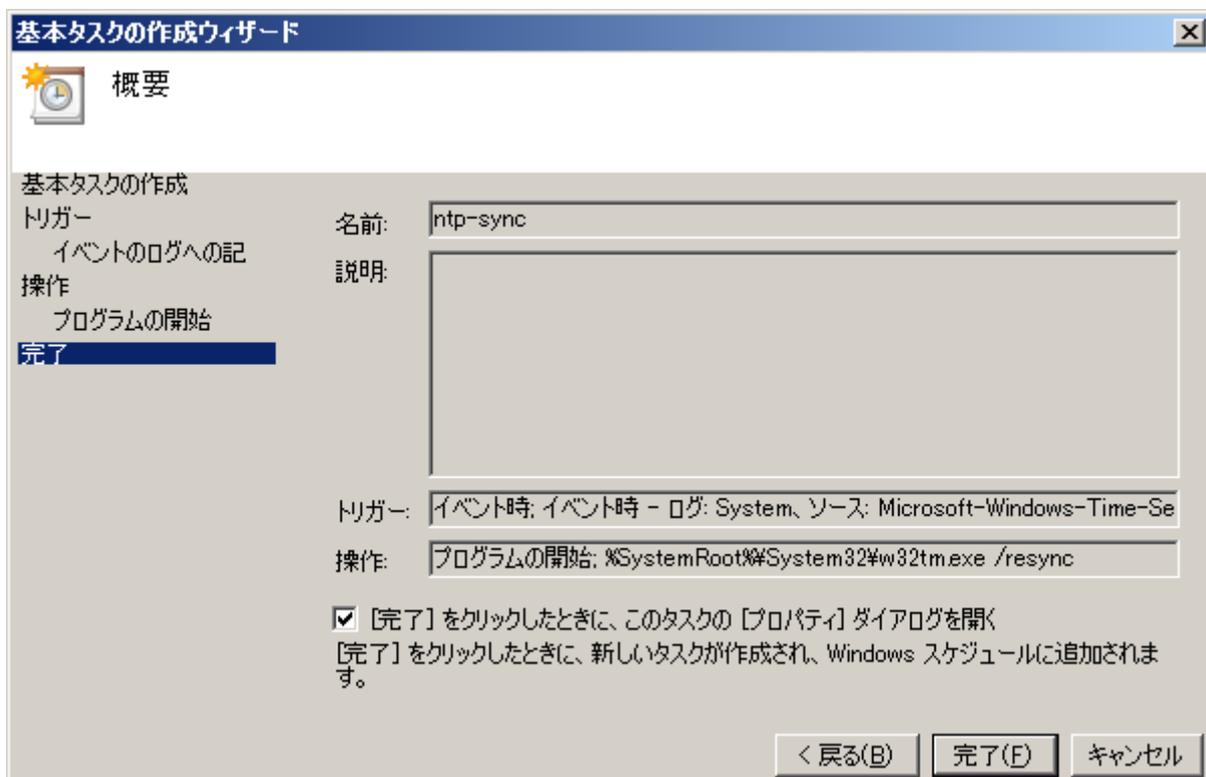
(7) [プログラムの開始] 画面で、以下のように指定します。

- [プログラム/スクリプト] に "%SystemRoot%\System32\w32tm.exe" と入力します。
- [引数の追加(オプション)] に "/resync" と入力します。

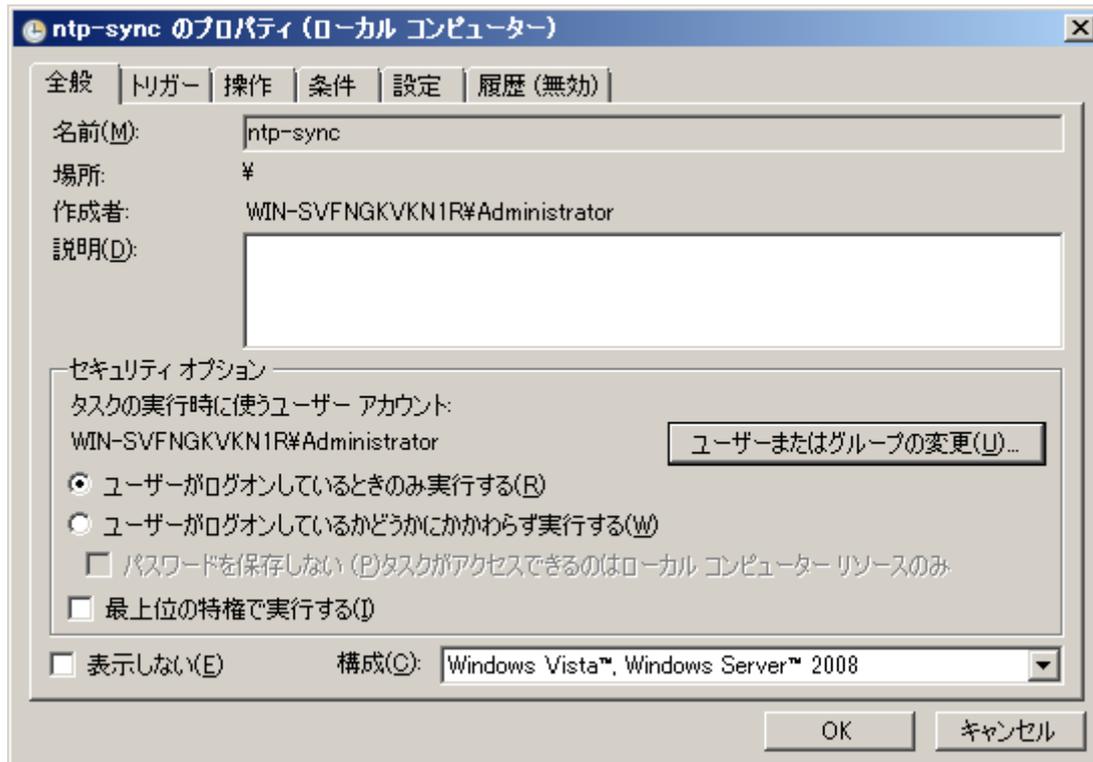


[次へ] をクリックします。

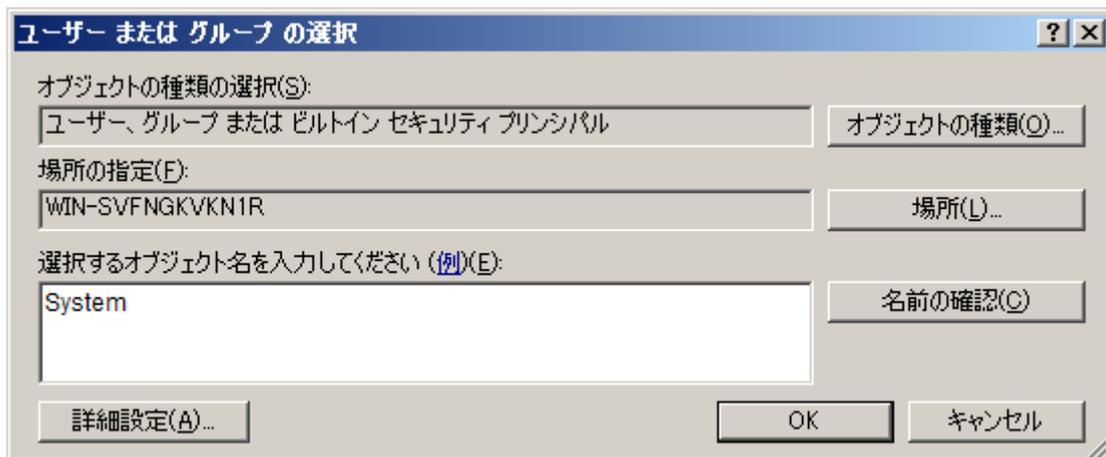
- (8) [概要]画面で、[完了をクリックしたときに、このタスクのプロパティ ダイアログを開く] のチェックボックスを ON にし、[完了] をクリックします。



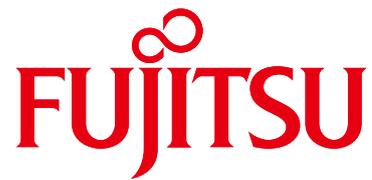
- (9) [<タスクの名称>のプロパティ] 画面で、[ユーザーまたはグループの変更] ボタンをクリックします。



(10) [選択するオブジェクト名を入力してください] に "System" と入力し、[OK] をクリックします。



(11) [OK] をクリックして[<タスクの名称>のプロパティ] を閉じます。



shaping tomorrow with you